

令和6年度 武蔵野大学附属幼稚園 教員自己評価報告

令和7年6月に行った教員自己評価の結果を公開いたします。結果は教育・保育の更なる向上のために活用してまいります。

【対象】専任教員（12名） 【評価基準】5：とてもあてはまる／4：ややあてはまる／3：どちらともいえない／2：あまりあてはまらない／1：まったくあてはまらない

		チェック項目	心がけている点（抜粋）	自己評価基準（人数）					自己評価基準（％）				
				5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(1) 計画力	1 教育理念		・園長先生のお考えをよく聞いた上で、私たち職員の意見交換をしつつ話し合いを重ねている。 ・本園の子どもの目指す像である子どもの高い自己肯定感、深い探究心を意識した子どもの関わり方を心がけています。特に子どものいいところ、頑張っていることを大いに認め、自信につながるような声掛けを意識しています。	5	6	0	1	0	42%	50%	0%	8%	0%
				7	3	1	1	0	58%	25%	8%	8%	0%
				5	5	1	1	0	42%	42%	8%	8%	0%
	2 教育課程		・幼稚園教育要領について、あらためて読み込み理解を深めなければならないと思う。 ・いろいろな子どもへの対応、配慮が必要とされている。子どもが考えて選択をしたことを応援し受け止める。	5	5	2	0	0	42%	42%	17%	0%	0%
				5	5	2	0	0	42%	42%	17%	0%	0%
				2	7	0	2	1	17%	58%	0%	17%	8%
	3 指導計画		・子どもが今どんなことに興味を持っているのかを把握し、展開を考え環境を整えたり、経験させたいことを念頭に月のカリキュラムを立案している。 ・本園の子どもの目指す像である子どもの高い自己肯定感、深い探究心を意識したねらいや振り返りをする際、担任がどのような言動をしたら子どもの姿はどうなったか、環境設定によって子どもの姿だったかなど記録をして次回に活かせるようにしています。	4	7	1	0	0	33%	58%	8%	0%	0%
				3	8	1	0	0	25%	67%	8%	0%	0%
				4	5	2	0	1	33%	42%	17%	0%	8%
	4 環境構成		・幼児の興味、関心が翌日にも繋がるよう、手に届きやすいよう道具や材料を用意し、環境設定をしている。 ・今の子どもたちが興味あることや関心を持っていることにアンテナをはり、それがより広がるような環境を構成するよう心掛けている。	4	6	1	1	0	33%	50%	8%	8%	0%
				4	7	1	0	0	33%	58%	8%	0%	0%
				4	8	0	0	0	33%	67%	0%	0%	0%
	5 評価反省		・少しでも迷いがあったり疑問を持ったことは、他の保育者に相談したり、意見を出し合っている。 ・自分を過大評価せず、反省すべきこと、悩んでいることは他の職員と共有し、上司の助言をもらいながら保育を進めている。	5	3	3	1	0	42%	25%	25%	8%	0%
				5	5	1	1	0	42%	42%	8%	8%	0%
				5	3	3	1	0	42%	25%	25%	8%	0%
教育関係	1 幼児理解		・子ども同士の関わりをよく把握し、保護者とも共有するようにしている。 ・一人ひとりをよく観察するように心がけているが、足りないこともあると思うので、副担任の保育者と情報交換し幼児理解に努めている。	8	4	0	0	0	67%	33%	0%	0%	0%
				4	8	0	0	0	33%	67%	0%	0%	0%
				4	8	0	0	0	33%	67%	0%	0%	0%
	2 健康安全		・すれ違う子に挨拶をし、変化に気づけるように心がけている。 ・ここを怠ったり、足りていないと間違えなく保護者の不信任に繋がる。なるべく朝登園したときと同じ姿で帰りたいと思いながら保育をしている。	9	2	0	1	0	75%	17%	0%	8%	0%
				9	2	0	1	0	75%	17%	0%	8%	0%
				8	3	0	1	0	67%	25%	0%	8%	0%
	3 幼児対応		・個々と関わることで個性を理解しようと努力している。特性のある子に関しては、周囲の保育者とも連携し、幼児にあった援助を共有するように努力はしている。 ・出来るだけ多くの子と関わり、その子自身を理解するよう心掛けている。気になる子については保護者にも様子を聞いたり、前担任などにも意見を求め、多方面からその子について理解したり、適切な援助を行えるように心がけている。	2	8	2	0	0	17%	67%	17%	0%	0%
				1	11	0	0	0	8%	92%	0%	0%	0%
				5	6	1	0	0	42%	50%	8%	0%	0%

(2)実践力	4 保育態度	・幼児の思いに寄り添うことは1番大切にしている。 ・子どもが自分の思いを伝えやすいよう雰囲気づくりを心かけている。思いを伝えたい気持ちに寄り添い、時間をかけて話を聞くようにしている。	8	4	0	0	0	67%	33%	0%	0%	0%
			8	4	0	0	0	67%	33%	0%	0%	0%
			6	6	0	0	0	50%	50%	0%	0%	0%
5 学級経営	・とことん子どもと関わること、遊ぶことなどコミュニケーションをとることで子どもを理解し、信頼関係を築けるような時間を多く取ってきた。 ・一人はみんなのために、みんなは一人のために。みんなががつてみんないいを実際クラス運営をするにあたり実践していることの一つだ。自分はクラスの一員であると感じられることが心地よくて安心してきて幸せと一人ひとりが思えるクラスにしていきたい。	5	4	3	0	0	42%	33%	25%	0%	0%	
		6	5	0	1	0	50%	42%	0%	8%	0%	
		3	8	0	1	0	25%	67%	0%	8%	0%	
6 研修研究	・毎月1回、元白梅大学教授の保育ラボに参加し、自分の保育課題を出して、他の方の意見を聞いたり、テーマを設定し学んでいる。 ・ピアノが苦手であるため、学内にいるピアノの先生に弾き方を教えてもらっています。仕事後も練習して子どもが歌を楽しく歌えるように心がけています。	4	4	4	0	0	33%	33%	33%	0%	0%	
		2	4	4	1	1	17%	33%	33%	8%	8%	
		5	4	3	0	0	42%	33%	25%	0%	0%	
7 資質向上	・長期休み中は研修会に参加し、様々な情報を吸収しようとしている。また、保育経験が多い先生に保育の相談をして保育に活かそうと努めています。 ・効率よく、かつ丁寧に、かつ正確に。すべてが子どものためになるように。これがプロ。	4	5	3	0	0	33%	42%	25%	0%	0%	
		5	5	1	1	0	42%	42%	8%	8%	0%	
		5	5	2	0	0	42%	42%	17%	0%	0%	
(3)管理能力	・私が行う時間・スケジュール管理は曖昧な部分が多いため、記録を徹底して次年度につなげていきたい。 ・行事等のスケジュールなどは、子どもを惑わせない様に頭に入れつつ、その時々状況によって他の職員とも協力しながら臨機応変に対応できるように心がけている。 ・仕事があると今日中になりたい性格で、やりきると時間がかかってしまうため、やるべきことをリスト化し、仕事の優先準備を決めて仕事を進めようとしています。	0	6	4	2	0	0%	50%	33%	17%	0%	
		2	6	3	1	0	17%	50%	25%	8%	0%	
		2	6	4	0	0	17%	50%	33%	0%	0%	
素養関係	1 保護者	・お迎えの時に、今日の様子を一言でも伝えるようにしている。また、バス降園の保護者には、問題があった時は小さな出来事でも電話連絡するようにしている。 ・保護者にも積極的に自分から関わりに行き、信頼関係を築ける様心掛けている。	2	8	1	1	0	17%	67%	8%	8%	0%
		4	5	2	1	0	33%	42%	17%	8%	0%	
		7	4	0	1	0	58%	33%	0%	8%	0%	
	2 地域社会	・地域とのつながりは薄く課題である。卒園生とのつながりへの取り組みは多くはないが、大事にしている。 ・今年度は保護者の活躍の場が多い為、こういった機会を通して園と地域との交流を広げていきたい。	3	6	1	2	0	25%	50%	8%	17%	0%
		1	0	5	2	4	8%	0%	42%	17%	33%	
		3	5	0	2	2	25%	42%	0%	17%	17%	
	3 上司同僚	・自分自身は他の教員と積極的に関わるようにし、チームワークを持って保育に取り組むよう心掛けていた。 ・信頼できる上司がいることで安心して仕事に向き合うことができる。誠実でいられる。一方で職員の意識改革や対応に差に連携した保育ができないことが悩み出あり不安だ。	2	6	3	1	0	17%	50%	25%	8%	0%
		6	4	1	1	0	50%	33%	8%	8%	0%	
		2	6	2	2	0	17%	50%	17%	17%	0%	
自己評価基準平均（人数・％）			4.42	5.31	1.42	0.67	0.19	37%	44%	12%	6%	2%